

【研修理念】

岩手県立磐井病院理念を理解し、常に病むものとともにあり、救急医療、地域医療に貢献できる医師となるようにプライマリ・ケアの基本的な診察能力(知識、態度、技能)を身に付け、社会常識の涵養、人格の陶冶に努める。

【研修到達目標】

- 1：On the job training で多数の実経験を積む
- 2：プライマリ・ケアに必要な臨床手技のすべてを修得する
- 3：知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

1. プログラムの特色

岩手県立磐井病院(病床数315)は2006年4月に、自然豊かな現在地に岩手県立南光病院(精神科)とともに新築オープンしました。

当院は「緩和ケア病棟」を有する「地域がん拠点病院」であり、さらに「地域周産期拠点病院」となっております。また、脳神経内科・脳神経外科、他の診療科も含めて、岩手県南・宮城県北の15万人の医療圏の拠点となっています。特徴として、地域がん診療連携拠点病院として諸施設(放射線診断機器<MDCT、MR、血管撮影装置など>、放射線治療<リニアック>、緩和ケア病棟<24床>)を有し、全人的、包括的ながん治療を行っています。また、救急指定病院として岩手県南・宮城県北医療圏での救急医療を担っています(1~2次(一部3次)のほぼすべての治療を行う)。とくに病院にヘリポートが設置されており、ヘリコプター搬送による医療も実践しています。

電子カルテを中心とした院内情報システムを整備し、「豊かな自然に抱かれた近代的な病院」で快適な研修生活を送ることができます。

卒後臨床研修では、必修化以前から30年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地方の病院ならではのアットホームな雰囲気の中で、自由選択科目履修期間が長い柔軟なローテーションを提供します。また、建物が一体化している岩手県立南光病院で精神科研修を行うなど、ほとんどの必修科目(選択必修含む)が敷地内で履修できます。

臨床研修修了後は、引き続き当院で後期研修(専門研修)を行うコースも用意しています。

2. 研修分野・研修期間(開始時期：令和8年4月から)

◆ 必須ローテーション

○内科：24週(消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科)

○外科：8週(一般外科※、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科等の外科系診療科)

※一般外科での研修を最低8週

○救急部門：12週

内訳 ・救急科：4週

・麻酔科：4週(※1年次の10月以降のローテーション)

・研修期間2年間を通して実施する月4回程度の日当直を換算

○小児科：4週

○産婦人科：4週

○精神科：4週(南光病院)

○地域医療：4週【原則2年次】

○一般外来：(4週)内科、小児科、地域医療、総合診療科(選択)の研修の中で、並行研修により、4週以上の研修を行う。

◆ 保健・医療行政として一関保健所(保健衛生行政)研修、2年次には日赤の献血事業に参加し、献血業務における面接及び健康診断を実施(月1~2回程度)。

◆ 自由選択：46週 研修可能な診療科は必修科目に同じ診療科のほか、総合診療科、画像診断科、放射線治療科、緩和医療科も選択可能。また、2年次の自由選択は、岩手県内の全研修病院(協力型臨床研修病院)の研修可能な診療科を選択できる。希望者は、個別にプログラム責任者に早めに相談すること。プログラム責任者は希望病院ならびにイーハトーヴ臨床研修病院群の事務担当に連絡する。

■ 研修ローテーション(基本)

1 年次	刈 2週	内科 24 週			麻酔 4週	救急 4週	外科 8週	自由選択 10 週
		5月～ 当直・救急						
2 年次	地域 4週	精神 4週	小児 4週	産婦 4週	自由選択 36週			
	当直・救急							

※当院のプログラムにおいて、研修医に必要な期間を理解しやすく示したものであり、最も標準的なローテーション順を示しているもの。

3. 研修指導体制等

臨床研修管理委員会およびその下部組織である、実動的な臨床研修委員会のもと、指導医および上級医が研修医を指導する。

- ・ 研 修 管 理 者 : 病院長 阿部 隆之
- ・ 研 修 実 施 責 任 者 : 副院長兼医療研修科長 桂 一憲
- ・ 臨床研修管理委員長 : 副院長兼医療研修科長 桂 一憲
- ・ プログラム責任者 : 外科長兼消化器外科長 柏舘 俊明

《協力型臨床研修病院》

協力型臨床研修病院	住 所	連絡先
岩手医科大学附属病院	紫波郡矢巾町2丁目1番1号	019-653-7111
岩手県立中央病院	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151
盛岡赤十字病院	盛岡市三本柳6地割1-1	019-637-3111
岩手県立胆沢病院	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地	0197-24-4121
岩手県立南光病院	一関市狐禅寺字大平17番地	0191-23-3655
岩手県立千厩病院*	一関市千厩町千厩草井沢32-1	0191-53-2101
岩手県立大船渡病院	大船渡市大船渡町字山馬越10-1	0192-26-1111
岩手県立釜石病院	釜石市甲子町第10地割483-6	0193-25-2011
岩手県立宮古病院	宮古市崎鍬ヶ崎第1地割11番地26	0193-62-4011
岩手県立久慈病院	久慈市旭町第10地割1番	0194-53-6131
岩手県立二戸病院	二戸市堀野字大河原毛38番地2	0195-23-2191
盛岡市立病院	盛岡市本宮五丁目15番1号	019-635-0101
北上済生会病院	北上市九年橋3丁目15-33	0197-64-7722
岩手県立中部病院	北上市村崎野17地割10番地	0197-71-1511
東北大学病院	宮城県仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7000
済生会松阪市民病院	三重県松阪市殿町1550番地	0598-23-1515

《臨床研修協力施設》

施設	住 所	電話
特定医療法人博愛会一関西城病院*	一関市大手町3-36	0191-23-2050
国立病院機構岩手病院*	一関市山目泥田山下48番地	0191-25-2221
一関市国民健康保険藤沢病院*	一関市藤沢町藤沢字町裏52番地2	0191-63-5211
岩手県立大東病院*	一関市大東町大原字川内128番地	0191-72-2121
岩手県一関保健所	一関市竹山町7-5	0191-26-1415
岩手県赤十字血液センター	盛岡市三本柳6地割1-6	019-637-7201
医療法人社団愛生会昭和病院*	一関市田村町6-3	0191-23-2020
特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院*	盛岡市繁字尾入野64-9	019-689-2101
医療法人社団やまと やまと在宅診療所一関	一関市宮坂町2-9	0191-34-7025
岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	盛岡市中央通1丁目2-1	019-613-6111

4. 募集要項

(1) 募集定員

8名

(2) 研修医の採用方法

岩手県が企画する合同面接会、および磐井病院の独自の面接（都合により合同面接会に参加できない場合は、随時面接を実施。）を行い、マッチングにより採用を決定する。

- ・ 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書、共用試験医学系 CBT 個人成績表
- ・ マッチングの参加：有り
- ・ 選考方法：面接、病院見学、学業成績、クラブ活動などから総合的に選考
- ・ 募集時期：6月 1日頃から
- ・ 選考時期：6月20日頃から

5. 研修医の処遇等

- ・ 身 分：会計年度任用職員（1日7時間45分、週38時間45分勤務）、時間外勤務有り
- ・ 任用期間：2年（2年修了後に後期研修医（常勤医師）として採用可能）
- ・ 報酬月額：1年次 345,000円 2年次 395,000円
- ・ 手 当：宿日直手当 1年次 11,250円 2年次 22,500円
※1年次の当直見習い研修は超過勤務手当を支給する
- ・ 支給見込月額（宿直4回、超過勤務20時間として積算した税込額）：
1年次 443,000円程度 2年次 541,000円程度
- ・ 賞 与：有り

- ・休 暇：1 年次 10 日 2 年次 11 日の有給休暇、夏季休暇、特別休暇有り
- ・保 険 等：健康保険（2 年次：地方職員共済組合）、厚生年金、雇用保険、労災保険加入
- ・健康管理：年 2 回の定期健康診断、婦人検診（希望者）
- ・宿 舎：公舎を貸与（有償）、独身者 2K（H20 年 3 月新築）、妻帯者用には別途考慮
- ・医局に机・ロッカー・パソコン：常勤医師と同じ
- ・白衣無料貸与（洗濯含む）
- ・賠償保険：病院保険に加入（任意の勤務医賠償責任保険個人加入推奨）
- ・学会出張旅費：年 120,000 円
- ・インターネット常時接続あり（Wi-Fi、研修医希望者に PC と iPad mini を貸与）
- ・今日の診療指針イントラネット版（電子カルテ端末で閲覧できます）
- ・医学中央雑誌 Web、メディカルオンライン（METEO）

※指導医一覧（2026 年 4 月）※職名は予定または 2026 年 3 月時点）

診療科	職名	氏名	指導医 講習会受講
外科	院長	阿部 隆之	○
外科	副院長兼医療研修科長兼医師事務支援室長兼乳腺外科長	桂 一憲	○
外科	第 1 外科長兼消化器外科長	柏館 俊明	○
外科	内視鏡外科長	加藤 伸史	○
整形外科	第 1 整形外科長	魚住 弘明	○
整形外科	第 2 整形外科長	千田 優子	○
形成外科	形成外科長	箱崎 貴哉	○
脳神経外科	第 1 脳神経外科長兼リハビリテーション科長	高橋 昇	○
脳神経外科	第 2 脳神経外科長	菊池 登志雄	○
泌尿器科	第 1 泌尿器科長	藤島 洋介	○
耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科長	齊藤 雄太郎	○
耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科医長	中山 勇樹	○
産婦人科	産婦人科長	菅原 登	○
産婦人科	周産期医療科長（月・火・木）	前川 絢子	○
産婦人科	婦人科内視鏡科長	鈴木 一誠	○
小児科	副院長兼第 1 小児科長	丸山 秀和	○
小児科	第 2 小児科長	佐藤 紀夫	○
新生児科	新生児科長	天沼 史孝	○
消化器内科	第 1 消化器内科長	横沢 聡	○
消化器内科	第 2 消化器内科長	千手 倫夫	○
消化器内科	第 3 消化器内科長	本田 純也	○
消化器内科	内視鏡科長	阿部 出	○
循環器内科	第 1 循環器内科長	小野寺 洋幸	○
循環器内科	副院長兼地域医療福祉連携室長兼第 2 循環器内科長兼医療安全管理室長	遠藤 浩司	○
循環器内科	第 3 循環器内科長	庄原 秀一	○
脳神経内科	医療局参与兼第 1 脳神経内科長	川守田 厚	○
呼吸器内科	感染管理室長兼呼吸器内科長	駒木 裕一	○
救急科	副院長兼診療情報管理室長	中村 紳	○
救急科	救急科長	片山 貴晶	○
救急科	災害医療科長	前川 慶之	○
麻酔科	中央手術科長	須田 志優	○
麻酔科	麻酔科長	叶城 倫子	○
画像診断科	画像診断科長兼放射線科長	照山 和秀	○
放射線治療科	放射線治療科長	阿部 恵子	○
眼科	眼科医長	村上 陽子	○
緩和医療科	参与兼緩和医療科長	加賀 敬子	○
緩和医療科長	医師	平野 拓司	○